

令和3年度事業計画書【修正】

(令和3年2月1日から令和4年1月31日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第121回日本外科学会定期学術集会をWebを中心とした開催方式で、下記のとおり行う。

日時 令和3年4月8日～10日（アーカイブ配信は5月31日まで）

参加予定者数 17,000名 演題予定数 2,000題

テーマ 「理術そして熱情～外科学再興～」

- ・学術集会の在り方を検討する。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を検証する。

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本する）。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和3年 3月 1日	122	2	8,900
令和3年 5月 1日	122	3	8,900
令和3年 7月 1日	122	4	8,900
令和3年 9月 1日	122	5	8,900
令和3年 11月 1日	122	6	8,900
令和4年 1月 1日	123	1	8,900

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
令和3年 2月 1日	51	2	40,000
令和3年 3月 1日	51	3	40,000
令和3年 4月 1日	51	4	40,000
令和3年 5月 1日	51	5	40,000
令和3年 6月 1日	51	6	40,000
令和3年 7月 1日	51	7	40,000
令和3年 8月 1日	51	8	40,000
令和3年 9月 1日	51	9	40,000
令和3年 10月 1日	51	10	40,000
令和3年 11月 1日	51	11	40,000
令和3年 12月 1日	51	12	40,000
令和4年 1月 1日	52	1	40,000

- ・Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
令和 3 年 2 月 1 日	7
令和 3 年 3 月 1 日	7
令和 3 年 4 月 1 日	7
令和 3 年 5 月 1 日	7
令和 3 年 6 月 1 日	7
令和 3 年 7 月 1 日	7
令和 3 年 8 月 1 日	7
令和 3 年 9 月 1 日	7
令和 3 年 10 月 1 日	7
令和 3 年 11 月 1 日	7
令和 3 年 12 月 1 日	7
令和 4 年 1 月 1 日	7

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し，発刊する．
- ・ 第 120 回日本外科学会定期学術集会までの歴史と，過去 20 年間に取り組んだ課題を纏めた記念誌を発行し，希望者に配布する．

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society（GSS），American College of Surgeons（ACS），Society of University Surgeons（SUS），College of Surgeons of East, Central and Southern Africa（COSECSA），The Association of Surgeons of India（ASI）などと持続可能な学術交流を ~~行い，若手外科医の交換発表などを行う~~
- ・ Royal College of Surgeons England（RCS）の International Surgical Training Programme（ISTP）の ~~募集を一時停止とした参加候補者を決定する~~．
- ・ 日本医学会，日本医学会連合，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会，「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制を検討する学術連合体」の活動に積極的に参画する．
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する．

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して，ビデオライブラリーに収載する．

小野 稔（東京大学）

平田 敬治（産業医科大学）

佐田 尚宏（自治医科大学）

田尻 達郎（京都府立医科大学）

小川 朋子（三重大学）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に基づき、該当者から利益相反自己申告書を回収する。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構と協働して、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行い、専攻医の研修状況を管理すると共に、外科専門医の認定試験を実施する。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（E-learningを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行う。
- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。
- ・外科専門医予備試験（筆記試験）を試行的に CBT 方式で実施し、外科専門医認定試験は面接試験以外の代替方式で実施する。
- ・外傷講習会を E-learning で配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・第25回臨床研究セミナーを E-learning で配信すると共に、今後の開催方式を検討も E-learning とする。
- ・~~第28回~~研究奨励賞(Surgery Today Research Award)を Surgery Today 優秀論文賞（Best Surgery Today Award）と改称して、表彰する（5名）。
- ・Surgery Today と Surgical Case Reports の Best Reviewer award を表彰する（各5名）。
- ・第121回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な ~~12~~9 演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award)の補助金を支給する（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award)の補助金を支給する（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第98回卒後教育セミナーを E-learning で配信する。
テーマ「外科医として知っておくべき対テロ・災害・外傷対策」
- ・第99回卒後教育セミナーを~~下記のとおり行う。~~E-learning で配信する。
~~日時 令和3年11月中~~

~~場所 京王プラザホテル（東京都） 参加予定者数 1,000 名~~

テーマ「外来・短期滞在型手術」

- ・ ~~今後は卒後教育セミナーと第 28 回~~生涯教育セミナーを統合して、「教育セミナー」として E-learning で配信する。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・ National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図る。
- ・ AMED 採択の研究課題「手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた実証研究」として、手術支援ロボットを用いた「遠隔手術ガイドライン」の作成と、実証研究を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を検討すると共に、「NCD データを用いたコロナ感染の外科手術に対する影響およびトリアージの実態調査研究」を行い、結果を公表する。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・ 広報活動として、第 47 回市民講座を完全 Web 開催方式で行~~う。~~い、ホームページで動画配信する。

~~配信期間 令和 3 年 4 月 8 日～5 月 31 日 日時 令和 3 年 4 月中~~

~~場所 未定~~

テーマ「肥満とがんって関係あるの？—肥満の治療は？がんの治療は？」—~~未定~~

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図る。
- ・ 外科医の適正数について検討し、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望する。
- ・ 外科医の無過失補償制度について検討する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 11 号）

- ・ 電子投票により，代議員の選任を行う．
- ・ 財務の健全化に向けた検討を行う．
- ・ ホームページのリニューアルを行う．
- ・ 事務所の移転を行う．
- ・ 事務局職員のリモートワーク化を行う．